

藤田興業株式会社 自己紹介と施工実績

2022年7月8日
岡山県コンクリート診断士会
情報提供会



1

藤田興業株式会社 業務部署

- ・ 工事部
- ・ 商事部

2



藤田興業株式会社 会社沿革



昭和28年10月	前身 設立
昭和44年12月8日	藤田興業株式会社を創業
昭和48年8月	一般建設業許可（土・図） 新規取得
平成2年10月	一般建設業許可（と、石、鋼、ほ、しゅ、塗、水）追加取得
平成3年6月	資本金 2,200万円に増額
平成4年4月	特定建設業許可（土、と、石、鋼、ほ、しゅ、塗、鋼、水）取得
平成13年9月	ISO 9002を認証取得
平成14年5月	県知事許可から国土交通大臣許可（土、と、石、鋼、ほ、しゅ、塗、鋼、水）変更
平成13年9月	ISO 9001：2000に更新取得
平成22年11月	資本金 3,200万円に増額
平成24年5月	国土交通大臣許可から岡山県知事許可（土、と、石、鋼、ほ、しゅ、塗、鋼、水）変更
平成25年11月	PCO事業部（Pest Control Operation）防虫防除・害虫駆除・関連商品販売（ムカデ・蟻・ヒアリ・その他）
平成30年2018. 9月	商事部 始動（ベトナム・台湾・その他）
令和元年2019. 5.1	商事部 ECO商品の企画・販売 （2019年4月まで平成31年）（紙ストロー・竹製品・小物・雑貨）
令和3年2021. 1.1	商事部 ふじた傳三郎太鼓ほうじ茶どら焼き販売、Translation：翻訳・通訳（ベトナム語・英語）ほうじ茶どら焼きネットショップ https://jotaro.base.shop/

3

主な取引先

国土交通省、岡山県、岡山市、和気町、西日本高速道路㈱、児島湾土地改良区、岡山市公園協会
樹大林組、東亜道路工業㈱、日本植生㈱、㈱ガイアートTK、日本国土開発㈱、欠作建設工業㈱
蜂谷工業㈱、㈱まつもとコーポレーション、中国建設工業㈱、西日本高速道路エンジニアリング四国㈱

加盟団体

岡山県建設業協会、岡山県森林土木建設協会、岡山県造園建設業協会、岡山県造園緑地組合連合会、パンウォール工法協会、
（一社）日本造園組合連合会、（一社）全国特定法面保護協会（社）岡山県法面保護協会、岡山県アンカー協会、薬石研究会
簡易吹付法特協会 中国四国F E工法協会、既設モルタル再生工法研究会（バスク工法）、（一社）リペア会、
公益社団法人 認知症の人と家族の会（賛助会員）

業務提携

株式会社東亜利根ボーリング（地盤改良工事）
フロンテエンジニア株式会社（非破壊補修補強工事《F E工法》）

4

業務内容と営業の沿革

創業 昭和44年12月8日。土木事業、造園工事業を営む。平成2年10月5日、追加許可を受ける。
 (とび・上工、土木事業、石工事業、鋼構造物工事、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業)
 土木事業に、環境事業の一環として今までの造園工事業(植栽工事)に法面緑化、法面保護工、水道施設工事業
 に対する地盤改良工事、構造物耐震工事並びにコンクリート診断・延命処置対策工事(維持補修工事)を拡充し
 平成31年4月19日、解体工事業の追加許可を受け、現在に至る。

ISO認証取得

平成13年 9月20日 ISO 9002 を認証取得
 平成15年10月30日 ISO 9001:2000に更新取得
 平成29年 9月29日 ISO 9001:2015に更新取得 現在に至る
 14001:2015を追加取得
 認証範囲 土木、公園庭園緑化、法面保護、舗装工事、軟弱地盤対策工、構造物補修(FE工法)、下水管更生工事
 品質管理方針 地球環境保全のため、社員一丸となり、品質管理マネジメントシステムを継続的に運用することにより、
 顧客の信頼を得る。

資本金 3,200万円

取引先金融機関

トマト銀行青江支店、中国銀行南岡山支店、おかやま信用金庫藤田支店

職員数及び資格保有内訳 (令和3年 7月現在)

職員数	34人		
資格保有内訳			
建設部門技術士	1人	二級土木施工管理技士	6人
一級土木施工管理技士	11人	二級造園施工管理技士	1人
一級造園施工管理技士	6人	二級建設機械施工技士	2人
一級建設機械施工技士	1人	その他 主任技術者	2人
一級舗装施工管理技士	4人		



藤田興業株式会社
 工事部 業務内容

- ・土木工事
- ・公園庭園緑化工事
- ・法面保護工事
- ・橋梁補修工事
- ・トンネル補修工事
- ・舗装工事
- ・地盤改良工事
- ・下水管更生工事
- など

- 工法等
- ・パンウォール工法
 - ・バスク工法
 - ・FE工法
- など



藤田興業 工事実績



<p>土木工事</p> <p>公園 砂場造り</p> <p>堤防 プレート積み工</p>	<p>法面保護工事</p>
--	---------------

藤田興業 工事成果



<p>造園工事</p>	<p>水路補修工事</p>
-------------	---------------

藤田興業 工事成果



橋梁補修工事

- ・工事名 山本 道路工事（橋梁補修）
- ・所在地 岡山県倉敷市
- ・工期 1年10ヶ月

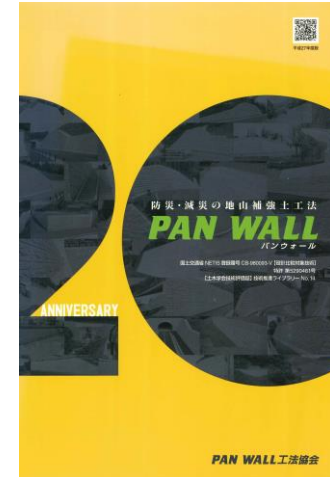
トンネル補修工事

- ・工事名 奥田 道路工事（トンネル補修）
- ・所在地 岡山県倉敷市
- ・工期 1年10ヶ月

9

藤田興業 工法紹介

パンウォール工法



10

PAN WALL 工法とは

“逆巻き施工を基本とした安全性の高い工法”

PAN (Panel And Nail) WALL 工法は、地山補強工法の理論に基づく工法です。

- 傾斜土工法の表面としてプレートコンクリート板を巻回
- 巻回後に、(逆巻→巻回) による地山補強可能な逆巻工法
- 逆巻き施工を基本とした安全性の高い工法 (地盤を上から下へ仕上げる)

PAN WALL 6つの特長

特長 1 巻回板厚 400~500mm 以内、逆巻による地盤改良と地山の保続	特長 2 逆巻き施工により、上部構造物の保護と施工の同時進行が可能	特長 3 表面工のプレートコンクリート板による、地盤改良と地山の保続
特長 4 傾斜土工法の表面としてプレートコンクリート板を巻回	特長 5 逆巻工法特有の逆巻による、地盤改良と地山の保続	特長 6 プレートコンクリート板の厚みによる、地盤改良と地山の保続

PAN WALL 主要部詳細図

● 巻回板厚 400~500mm 以内
● PAN WALL 厚 400mm 以内
● 巻回板厚 400~500mm 以内
● 巻回板厚 400~500mm 以内
● 巻回板厚 400~500mm 以内

11

選別表

選別項目	選別基準
PAN WALL	1. 傾斜土工法の表面としてプレートコンクリート板を巻回 2. 巻回後に、(逆巻→巻回) による地盤改良可能な逆巻工法 3. 逆巻き施工を基本とした安全性の高い工法 (地盤を上から下へ仕上げる)

工法比較

項目	PAN WALL	プレートコンクリート工法	逆巻工法
工期	短	長	長
コスト	低	高	高
安全性	高	低	低
環境性	高	低	低
メンテナンス	容易	困難	困難



施工手順・工程

PAN WALL 工法は、安全な巻回工法による地盤改良と地山の保続を目的とする。

1. 掘削
2. 土留め 掘削
3. PAN WALL 掘削
4. プレートコンクリート板の巻回
5. 逆巻板の巻回
6. 巻回板の巻回
7. プレートコンクリート板の巻回
8. 逆巻板の巻回
9. プレートコンクリート板の巻回
10. 逆巻板の巻回
11. 掘削完了

12

上部構造物 (道路・建物等)・境界内施工

道路の保続工事や傾斜土工法等で地盤改良して構造物を保続する場合は、PAN WALL 工法は、一般の傾斜土工法と異なる点があります。そして、上部構造物の保続・上記道路の交通規制を最小限に抑えることができます。

構造物の保続 (道路)

一般の傾斜土工法は、傾斜土工法による地盤改良と地山の保続を目的とする。そのため、上部構造物の保続・上記道路の交通規制を最小限に抑えることができます。

構造物の保続 (建物)

傾斜土工法による地盤改良と地山の保続を目的とする。そのため、上部構造物の保続・上記道路の交通規制を最小限に抑えることができます。



藤田興業 工法紹介

バスク工法

バスク工法 wide

モルタル・コンクリート補修
保護の新基準

環境負荷低減 作業効率UP
安全性向上 コストダウン

NETIS登録番号
QS-1080015-A



13

バスク工法 wideの特徴
ポリマーセメントモルタルによる既設モルタル面の補修・保護工法

吹付け可能な環境負荷低減型
繊維補強ポリマーセメントモルタル

産業廃棄物の抑制
廃水等の流出抑制
狭い作業ヤード
工事の短縮
環境コストの低減

このような場所にも対応可能
トンネル 橋脚 石積み 橋梁

施工事例
山口県岩国市 広島県神石高原郡 鹿児島県枕崎市 大分県大分市在賢園 急傾斜



14

バスク工法 wide

標準断面図

① 法面洗浄工
② クラック修繕工
③ 法面保護工
④ 表面下地処理工
⑤ 正構築層修繕工

⑥ 繊維補強工
⑦ 最終仕上げ工

施工事例

高橋橋 (既設型リモルタル高収付保層の施工例)
新山橋
高島橋 (橋梁の狭い工区)

クラック拡げ詳細図



15

藤田興業 工法紹介

FE工法

FE工法「非破壊補修工法」のご提案
STOCK RENOVATION

財団法人 非破壊検査協会 認定試験センター (財) 非破壊検査協会 (財) 非破壊検査協会
財団法人 非破壊検査協会 認定試験センター (財) 非破壊検査協会 (財) 非破壊検査協会

財団法人 非破壊検査協会 認定試験センター (財) 非破壊検査協会 (財) 非破壊検査協会

財団法人 非破壊検査協会 認定試験センター (財) 非破壊検査協会 (財) 非破壊検査協会



16

FE工法の概要

工法の特長

主要資材

- FE-GRC (FRP繊維強化石膏) (FRP繊維強化石膏)
- FEプライマー (プライマー)
- FEシート (FRP繊維強化石膏シート)
- アクリル系樹脂 (アクリル系樹脂)

施工断面図

非破壊・補修、FE工法によるリノベーションがインフラを再生します

FE工法施工手順

1. 既存構造物の調査と補修
2. FE-GRCの施工
3. FEプライマーの施工
4. FEシートの施工
5. アクリル系樹脂の施工



FE工法 (内装工事) の工程

工程フローチャート

1. 現場調査
2. 補修工事
3. 下地工事
4. 非破壊補修工事
5. ひび割れ補修工事
6. プライマー工
7. FEシート工
8. アクリル系樹脂工
9. 目地工事
10. 完成

ひび割れ補修工

目地工事

プライマー工



代表例の劣化状況

施工事例紹介

施工断面図

全国の施工事例

施工事例紹介

FE-GRC (FRP繊維強化石膏) の施工特性

用途	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏
用途	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏
施工面積	2,100㎡	2,100㎡	2,100㎡	2,100㎡	2,100㎡
完成年月	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年
所在地	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都
施工内容	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏	FRP繊維強化石膏
施工期間	約1ヶ月	約1ヶ月	約1ヶ月	約1ヶ月	約1ヶ月
施工費用	約100万円	約100万円	約100万円	約100万円	約100万円
施工業者	藤田興業株式会社	藤田興業株式会社	藤田興業株式会社	藤田興業株式会社	藤田興業株式会社

FE-GRC (FRP繊維強化石膏) の施工特性

FE-GRC (FRP繊維強化石膏) の施工特性



藤田興業株式会社 商事務部 業務内容

・事務所2階にて
工口商品等企画、販売中

・平成30年2018. 9月
始動(ベトナム・台湾・その他)

・2021年5月13日
RSK「ちゃんねる6ロック」より藤田興業株式会社が紹介！！

Kami St paper straw



商事部
ふじた傳三郎太鼓
ほうじ茶どら焼き

・2021年1月1日
どら焼き販売開始

・2021年4月
どら焼きオンライン
ショップ設立

・2021年7月
どら焼き自販機設置



藤田興業が設置したどら焼き専用の自販機



21

傳三郎どら焼き 実績

・2021年1月4日 「山陽新聞」掲載

・2021年1月8日
「RSKラジオ あもーれ! マッターリノ」生放送

・2021年3月2日
「岡山天満屋地下 岡山鼻眞」で販売開始

・2021年8月23日
「RSKイブニングニュース」どら焼き自販機が
報道

・2022年3月9日
「テレビ山口 おもしろ経済維新!」紹介



22

岡山県産米粉・小麦粉・小豆・美作海田園のほうじ茶葉を使用。もちもちの食感とほうじ茶の香り、あずきの程よい甘さが特徴です。

原材料・どら焼きは藤田神社にて御祈願・御祈祷を行っております。

当社先代社長高橋九助会長の一言から「ふじた傳三郎太鼓」が発足しました。現在の豊穡なる大地の礎を築いた藤田傳三郎に敬意を払いその不屈の魂とダイナミックな和太鼓の響きをパッケージデザインに込めました。



ふじた傳三郎太鼓
ほうじ茶どら焼き

藤田興業株式会社

藤田傳三郎は明治期に日本経済の礎を築き上げ、岡山県の願いを聞き入れて全私財を投じ、児島湾の大干拓に尽力されました。藤田傳三郎は岡山県を救った偉人です。

23

商事部
ECO商品
紙ストロー

2019年5月1日
商事部 ECO商品の企画・販売
(紙ストロー・竹製品・小物・雑貨)

2020年2月発売開始

主な取引先
・岡山トヨタ自動車
・ネットトヨタ岡山

Kami St!
オリジナルマスクングテープ



24

商事部
ECO商品

草ストロー

2019年5月1日
商事部 ECO商品の企画・販売
(紙ストロー・竹製品・小物・雑貨)

2022年3月
草ストロー販売開始

メディア紹介実績
・FM岡山
・山陽新聞
・岡山瀬戸内海放送 「ななスパbiz」



25

令和2・3年度国道30号笹ヶ瀬橋外耐震補強補修工事
施工方法について



26



工事概要



工事名
令和2・3年度国道30号笹ヶ瀬橋外耐震補強補修工事

発注者
国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所
(Tel.086 - 214 - 2307)

路線名
国道30号(笹ヶ瀬橋)、国道2号(大槌橋)

管理第二課 (Tel.086 - 214 - 2473)

工事場所
岡山市南区当新田～岡山市南区藤田錦(笹ヶ瀬橋)
岡山市南区当新田～岡山市南区当新田(大槌橋)

受注者
藤田興業株式会社
岡山市南区藤田679
TEL 086-296-3504

工期
自) 令和2年11月03日
至) 令和4年07月15日

工事内容
別頁参照
監理技術者: 早瀬 内海
現場代理人: 安原 嘉彦

当初請負代金
¥258,500,000 - (内消費税 ¥23,500,000 -)

27

工事概要



当初数量

笹ヶ瀬橋
工事延長L=180m
耐震補強工1
落橋防止装置工(チェーン)10箇所
落橋防止装置工(水平力分担構造)32箇所
落橋防止装置工(RC突起)28箇所
橋脚巻き立て工1式
コンクリート巻き立て1基
橋梁補修工1式
橋梁補修工1式
現場塗装工1式
現場塗装工(F-11)19m2

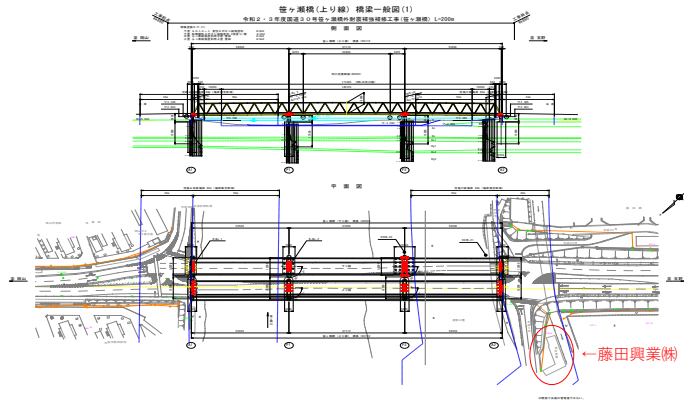
大槌橋
工事延長L=160m
耐震補強工1式
落橋防止装置工(PCケーブル)31箇所
RC突起72箇所
橋梁補修工1式
橋梁補修工1式

工期が7月のため、
完成写真は別紙をご覧ください。

※途中ボイリングが発生し、対応に困ったが無事完工しました。

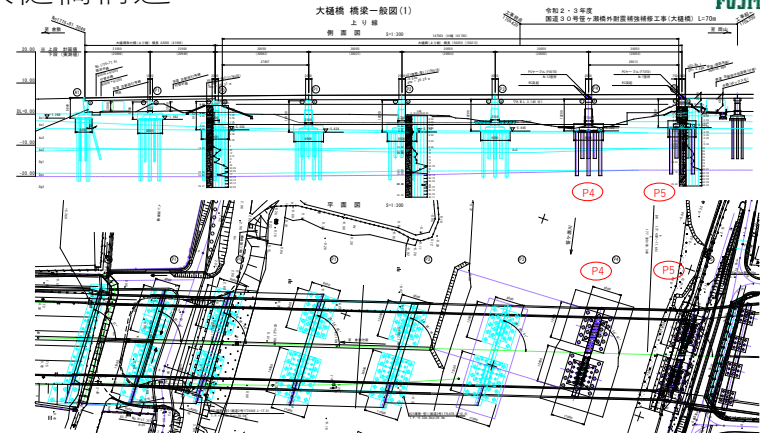
28

笹ヶ瀬橋構造



29

大樋橋構造



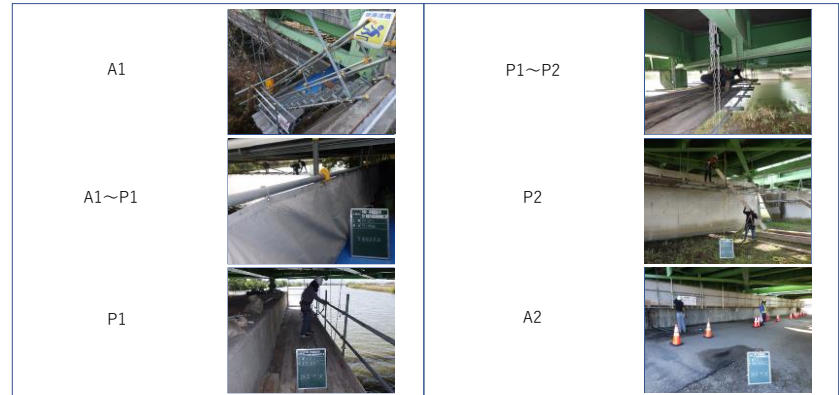
30

準備工



31

仮設工



32

仮設工



33

構造物撤去工 ≪A1上り、A2上り≫



34

落橋防止装置工 ≪A1、P1、P2、A2≫



35

落橋防止装置工 ≪A1、P1、P2、A2≫



36

落橋防止装置工 ≪A1、P1、P2、A2≫








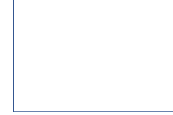
<p>コンクリート養生</p> 	<p>ブラケット搬入</p> 
<p>型枠脱型</p> 	<p>ブラケット取付</p> 
<p>コンクリートブロック 位置出し</p> 	<p>孔明部 バリ取り</p> 

37

鋼桁補強工 ≪A2≫

ベント工 ≪A2≫



<p>高力ボルト一次締め</p> 	<p>ベント台設置</p> 
<p>高力ボルト本締め</p> 	
<p>高力ボルト締付け ケレン</p> 	

38

支承工 ≪A2≫




<p>支承部 着工前</p> 	<p>橋台部 コア削孔</p> 
	<p>橋台部 はつり</p> 
	

39

支承工 ≪A2≫



<p>既設支承撤去</p> 	
<p>支承溶接</p> 	
	

40

塗装工 高力ボルト部≪A1、P1、P2、A2≫



41

塗装工 第1、第2径間≪A1~P2≫



42

塗装工 第1、第2径間≪A1~P2≫



43

塗装工 支承溶接部≪A2≫



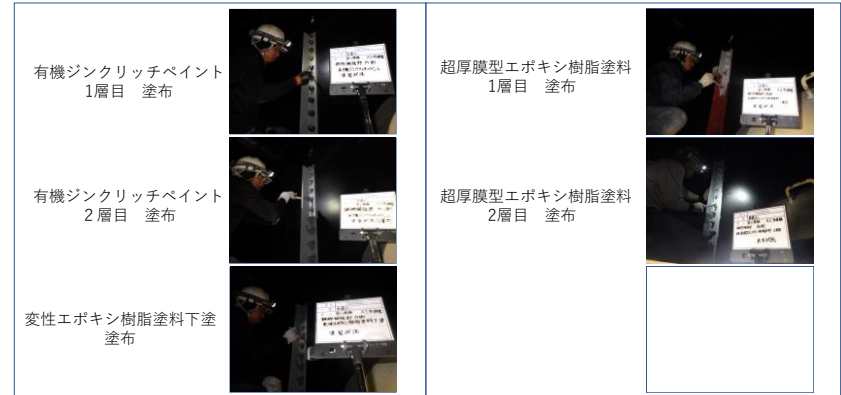
44

塗装工 鋼桁補強部 外側<<A2>>



45

塗装工 鋼桁補強部 内側<<A2>>



46

仮締切工<<P2>>



47

仮締切工<<P2>>



48

支保工 ≪ P2 ≫



<p>腹起しプラケット溶接</p> 	<p>切梁設置</p> 
<p>腹起し設置</p> 	
<p>火打ち設置</p> 	

49

土留工・崩壊(対処) ≪ P2 ≫



<p>陥没状況</p> 	<p>ボイリング</p> 
<p>埋戻し状況</p> 	<p>水替え状況</p> 
<p>埋戻し完了</p> 	

50

土留工・崩壊(対処) ≪ P2 ≫



<p>土留め一部崩壊に対する補修作業</p> 	
	
	

52

薬液注入工 ≪ P2 ≫



<p>薬液注入用足場設置</p> 	
<p>機械据付け</p> 	
<p>薬液注入</p> 	

53

巻立て工 ≪P2≫









<p>橋脚洗浄</p> 	<p>チッピング</p> 
<p>横向きコア削孔</p> 	<p>型枠用セバアンカー 打ち込み</p> 
<p>下向きコア削孔</p> 	<p>縦鉄筋定着</p> 

54

巻立て工 ≪P2≫



<p>PC鋼棒定着</p> 	<p>フープ筋フレア溶接</p> 
<p>フープ鉄筋固定</p> 	<p>鉄筋組立完了</p> 
<p>縦鉄筋圧接</p> 	<p>C型鋼取付</p> 

55

巻立て工 ≪P2≫



<p>下部コンクリート打設</p>   	<p>コンクリート打継ぎ面 処理材散布</p>   
--	--

56

巻立て工 ≪P2≫



<p>上部 型枠組立</p>  <p>上部コンクリート打設</p>  	<p>型枠脱型</p>   
---	--

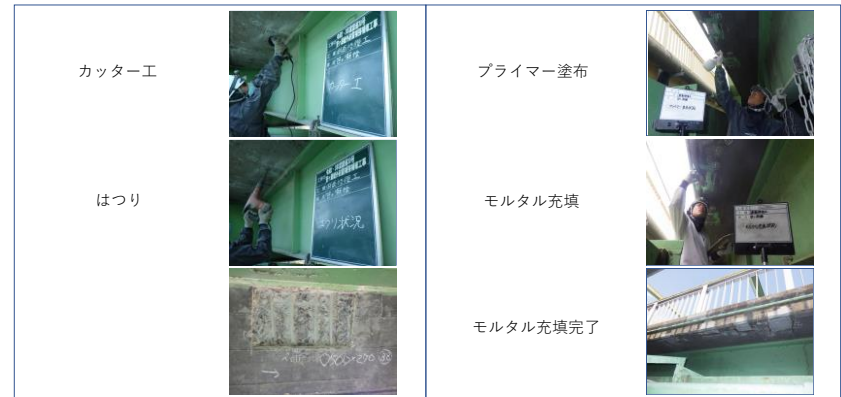
57

土留工・支保工《P2》



58

断面修復工



59

ご清聴ありがとうございました。



60